

令和6年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊第2航空団

開催日及び場所	令和6年9月5日(木)	北海道防衛局第1・第2会議室
委員	池田 駿矢 (公認会計士) 神谷 奈保子 (大学客員教授) 菊地 均 (大学名誉教授) 北守 一隆 (大学名誉教授) 中野 雅文 (弁護士)	(50音順)

防衛省発注機関が締結する契約(工事)に関する審議

審議対象期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
審議対象件数	48件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	1件	(審議概要)
一般競争契約	0件	1 契約状況の説明
指名競争契約	0件	2 抽出事案の概要説明
随意契約	1件	3 抽出事案の審議

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>① 平和宿舍風呂釜等更新工事</p> <p>・都市ガス供給であることから随意契約となったことについては理解できたが、低落札率に至った経緯を説明して頂きたい。</p> <p>・一般競争入札に付した場合、さらに高い金額になることが考えられるか。</p> <p>・令和2年度については本件受注者以外の業者が落札しているが、都市ガス関連会社でなくとも施工が可能なのか。</p> <p>・指名随契審査委員会議事録で「調達要求金額が250万円を超えている</p>	<p>・積算できる部分については標準資料(公共建築工事共通費積算基準、公共建築工事標準単価積算基準、公共建築工事積算研究会参考歩掛、公共建築工事積算基準等資料、建設機械等損料表、建設物価、積算資料)に基づいて積算しており、物品については業者見積を参照している。見積合わせ時に参加業者が物品費を下げてきたため、低落札になったと考えられる。</p> <p>・一般競争入札の場合も本件受注者が参加してくることが考えられるため、一概には言えない。</p> <p>・令和2年度については他基地分であり、プロパンガスの契約であった。</p> <p>・工事の一般入札になる金額の基準が250万円となっている。今回は250</p>

	<p>ため～」とあるが、これについて説明して頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争を許さないとは言っても、理由がよく分からない。審査会で審議するとはいつでも答えが初めから決まっているのではないか。本当に競争を許さないのか。 ・都市ガスの代理店でも本件は施工できるのではないか。供給約款の内容等もよく確認し、複数者が参加出来る方向を模索して頂きたい。 	<p>万円を超えているが競争にそぐわないため、またこの系列の会社しかできないということで指名随契審査会を開き、随意契約で契約できるかどうか審査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約内容に都市ガスがあるため、本件受注者しかできないとの契約担当官以外の部署からの意見も取りまとめたうえでやむをえないと判断した。 ・了解した。
--	---	---

委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし
--------------------	-----

2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について

談合疑義件数	0件	(審議概要) ・なし
談合情報	0件	
点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回 答

委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし
--------------------	-----

3. 再苦情処理(再説明請求回答)

再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数 0件	(審議概要) ・なし
一般競争契約	0件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回 答

委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし
--------------------	-----

令和6年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊第2航空団

開催日及び場所	令和6年9月5日(木)	北海道防衛局第1・第2会議室
委員	池田 駿矢 (公認会計士) 神谷 奈保子 (大学客員教授) 菊地 均 (大学名誉教授) 北守 一隆 (大学名誉教授) 中野 雅文 (弁護士)	(50音順)

防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日	
審議対象件数	2,835件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	4件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	2件	
指名競争契約	0件	
随意契約	2件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>① 通信用電力 ・落札率が予定価格に比して150%となった経緯を説明して頂きたい。</p> <p>② 車両純正部品 ・一部の契約において落札率が100%となった経緯を説明して頂きたい。</p> <p>③ LEDランプ照明器具150個以下6点 ・予定価格算出根拠にカタログ価格の50%引きとあるが、契約金額と比べて乖離が大きいのはなぜか。</p>	<p>・当初の予定価格は令和4年度の電力供給約款に物価変動率を考慮して算出したが、入札参加業者がいなかったため、随意契約へと切り替えることになった。 離島に供給できる業者が本件受注者のみであり、受注者の電力供給約款の単価を採用したため、高落札率となった。</p> <p>・予定価格は割引率で設定している。予め定めた予定価格(割引率)と落札者の割引率が一致したため、落札率100%となった。</p> <p>・業務用の電材については入札金額が大きく下がる傾向にある。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・積算した金額は適切であるかどうか疑問であるため、今後どのような積算の方法を取るのが望ましいと考えるか。 <p>④ 重油24,000L以下4点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が100%となった経緯について説明頂きたい。 ・市場価格の段階で低価格だった業者が入札で金額を上げてきた理由はどのように考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の契約実績を基にしてさらに割引率補正をかける、または業者から市場価格を取る手段が考えられる。 ・予定価格の算出根拠となった業者が同じ金額で入札に参加してきたためと考えられる。 ・企業の経営判断によるものと考えられる。
--	--	---

委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし
--------------------	-----

2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について

談合疑義件数	0件	(審議概要) ・なし
談合情報	0件	
点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	

3. 再苦情処理(再説明請求回答)

再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数 0件	(審議概要) ・なし
一般競争契約	0件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	